令和3年度第2回幡多地域アクションプランフォローアップ会議資料

令和4年度幡多地域アクションプランの 追加、削除、拡充等(予定項目)

幡 多 地 域 本 部 令和4年2月21日(月)

# 令和4年度地域アクションプランの追加・削除等(予定項目)

# 地域アクションプランへの支援の方向性

新規事業の掘り起こしと担い手の育成、事業が抱える課題の解決を図りながら、地域アクションプランの実現に向けて、産業振興推進地域本部を中心に取り組みを推進していく。

- (1) 新規事業の掘り起こしと担い手の育成
  - ①発掘支援型アドバイザーと連携して、地域アクションプランへの位置付けを目指す取り組みを掘り起こし
  - ②地域が主体となって実施するビジネス研修への支援により、産業振興の取り組みを牽引する担い手を育成
- (2) 課題解決に向けた支援
  - ①課題解決型アドバイザーと連携して、個別課題の解決を支援
  - ②課題一貫支援型アドバイザーと連携して、地域への経済波及効果が大きい案件に対し、全体的な課題の整理・分析及び解決策の検討を一貫して支援

# 地域アクションプランの増減(▲4)

- (1) 追加(新規): 2件
  - ○須崎市養殖漁業等のさらなる振興 (須崎市)
  - ○浦ノ内マリンパークにおける交流人口の拡大による地域の活性化(須崎市)
- (2) 削除 (廃止): ▲5件
  - ○南国市の農園レストランによる地域食材の消費拡大(南国市)
  - ○JA出資型法人(㈱れいほく未来)を核とする地域活性化の取り組み(土佐町)
  - ○四万十川源流等中山間資源活用ビジネスの創出(中土佐町)
  - ○須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化(須崎市)
  - ○須崎市の教育旅行や団体旅行の誘致に向けた体制の整備(須崎市)
- (3) 追加(分割): 0件
- (4) 削除(統合): ▲1件
  - ○中土佐町地域ブランドの創出と販売促進(中土佐町)
  - ○中土佐町のうまいもん食わしちゃお」商品開発プロジェクト(中土佐町)
    - →「中土佐町地域ブランドの創出と販売」として統合

# 地域アクションプラン数 R3年度 224件 → R4年度 220件 (▲4)

	R3年度 (第4期Ver.2)			R4年度 (第4期Ver.3)		
	AP数		増	減		A D #h
	R3.9月時点	追加	削除	統合·分割	計	AP数
安芸	30					30
物部川	26		<b>1</b>		<b>1</b>	25
高知市	23					23
嶺北	25		<b>1</b>		<b>1</b>	24
仁淀川	34					34
高幡	42	2	<b>▲</b> 3	(2→1) ▲1	<b>▲</b> 2	40
幡多	44					44
合計	224	2	<b>\$</b> 5	<b>1</b>	<b>4</b>	220

○地域産業クラスタープロジェクト R3年度 19件 → R4年度 18件(▲1)

# 幡多地域アクションプラン項目(第4期計画Ver.2(R3年度)と

No.	現在(令和3年度)	宿毛市	市	四万十市	大月町		黒潮町
		10	11	13	8	8	9
	<b>幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等の推進</b>	•					
	土佐極鶏あしずりキングの生産加工・流通・販売の推進		•	_			
	四万十ぶしゅかんの産地形成とブランド化			•			
	三原村ユズ産地化計画の推進				_		
	大月町内の持続可能な山林資源を活用した製炭業の推進				•		
	宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト	•					
	すくも湾漁協による水産物の加工・販売	•					
	宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売	•					
	宿毛湾のキビナゴ加工商品等の販売拡大				•		
	宿毛湾の干物等水産加工品の販売拡大				•		
	幡多地域産品販売体制の構築 ウェナはカナーのサカーのでする(2)体	•	•	•	•		•
	宿毛市特産直七の生産・加工・販売の促進	•					
	幡多地域で昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等の推進	•	_				
	土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進		•				
	宗田節だし加工商品の販路拡大の促進		•				
	幡多地域産品を活用した加工商品の開発販売と流通システムの構築		•				
	宗田節の一般向け削り加工商品の販売促進と体験観光の強化		•				
	新たな製造方式の導入による宗田節等の生産・販売の強化		•				
	西土佐産栗の地産外商の推進			•			
	四万十牛の生産・加工・販売体制の強化			•			
	売り出せ西土佐プロジェクト推進(拠点ビジネス)			•			
	四万十地域の素材を活用した加工商品の外商強化			•			
	幡多地域の農水産物を活用したペット関連商品の開発・販売拡大			•			
	四万十の地域食材を活用した商品開発・製造・販売の推進			•			
	幡多地域産品を活用した冷凍加工食品の開発・製造・販売の推進			•			
	地域商業活性化拠点「はれのば」を核とした中心市街地の活性化			•			
	道の駅「ふれあいパーク・大月」を基盤とした産業振興と賑わいの創出				•		
	三原村のどぶろくによる地域活性化						
	三原産トマトを中心とした加工・販売の推進						
	黒潮町産天日海塩を活用したビジネスの推進						•
	黒潮町産天日塩の販売拡大及び地域ブランド化の推進					$\vdash$	•
	佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進						_
	黒潮町の地域産品を中心とした水産加工品等の販売促進						_
	黒潮町の地域資源を中心とした防災関連商品づくりの推進						•
	幡多広域における滞在型・体験型観光の推進 概念広域における記者。 ************************************	•	•		•		-
	幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口の拡大と地域の活性化 宿毛市の地域資源を活用した観光振興				•		
	値も中の地域資源を活用した観光振典 竜串地域の観光再生構想の推進					$\vdash$	
	土佐清水まるごと戦略観光の展開						
	四万十市の地域資源を活用した通年・滞在型観光の推進			•			
	大月町の地域資源を活用した観光振興						
	三原村の魅力をいかした滞在型・体験型観光推進					•	
	黒潮町の地域資源を活用した観光推進						•
	集落活動センターやまびこによる三原村の産業振興						

# 第4期計画Ver.3(R4年度)の対比表)

【幡多地域】

""	3	井	四	大	Ξ	黒		
宿 毛 市	를 [     다	土佐清水市	万十	月町	三原村	潮町	No.	改定案(令和4年度)
		市	市				140.	以足来(T和44度)
10	0	11	13	8	8	9		
•							1	幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等の推進
	1	•					2	土佐極鶏あしずりキングの生産加工・流通・販売の推進
			•				3	四万十ぶしゅかんの産地形成とブランド化
					•		4	三原村ユズ産地化計画の推進
				•				大月町内の持続可能な山林資源を活用した製炭業の推進
•							6	宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト
•								すくも湾漁協による水産物の加工・販売
•							8	宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売
				•			9	宿毛湾のキビナゴ加工商品等の販売拡大
				•			10	宿毛湾の干物等水産加工品の販売拡大
•		•	•	•	•	•		幡多地域産品販売体制の構築
•								宿毛市特産直七の生産・加工・販売の促進
								幡多地域で昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等の推進
	-	•					14	土佐清水メジカ関連産業再生構想の推進
	ı	•					15	宗田節だし加工商品の販路拡大の促進
	1	•					16	幡多地域産品を活用した加工商品の開発販売と流通システムの構築
		•					17	宗田節の一般向け削り加工商品の販売促進と体験観光の強化
	1	•					18	新たな製造方式の導入による宗田節等の生産・販売の強化
			$\bullet$				19	西土佐産栗の地産外商の推進
			$\bullet$				20	四万十牛の生産・加工・販売体制の強化
			•				21	売り出せ西土佐プロジェクト推進(拠点ビジネス)
			•				22	四万十地域の素材を活用した加工商品の外商強化
			•				23	幡多地域の農水産物を活用したペット関連商品の開発・販売拡大
			•				24	四万十の地域食材を活用した商品開発・製造・販売の推進
			•				25	幡多地域産品を活用した冷凍加工食品の開発・製造・販売の推進
			•				26	地域商業活性化拠点「はれのば」を核とした中心市街地の活性化
				•			27	道の駅「ふれあいパーク・大月」を基盤とした産業振興と賑わいの創出
					•		28	三原村のどぶろくによる地域活性化
					•		29	三原産トマトを中心とした加工・販売の推進
						•	30	黒潮町産天日海塩を活用したビジネスの推進
						•	31	黒潮町産天日塩の販売拡大及び地域ブランド化の推進
						•	32	佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進
						•	33	黒潮町の地域産品を中心とした水産加工品等の販売促進
						•	34	黒潮町の地域資源を中心とした防災関連商品づくりの推進
•		•	•	•	•	•	35	幡多広域における滞在型・体験型観光の推進
•		•	•	•	•	•	36	幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口の拡大と地域の活性化
•							37	宿毛市の地域資源を活用した観光振興
①拡充	Į.	•					38	竜串地域の観光再生構想の推進
		•					39	土佐清水まるごと戦略観光の展開
			•				40	四万十市の地域資源を活用した通年・滞在型観光の推進
				•			41	大月町の地域資源を活用した観光振興
					•		42	三原村の魅力をいかした滞在型・体験型観光推進
						•	43	黒潮町の地域資源を活用した観光推進
					•		44	集落活動センターやまびこによる三原村の産業振興

# 幡多地域アクションプランの追加・削除・拡充等(予定項目)

# ■追加

なし

# ■削除

なし

# ■その他(拡充、統合、分割)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
	No.38 竜串地域の観光再生構想の推進(土	【拡充】県立足摺海洋館のリニューアルオープン
	佐清水市)	等により、増加傾向にある観光客に対応するため、
1	【実施主体】土佐清水市、竜串海洋観光ク	近隣の道の駅「めじかの里・土佐清水」をリニュ
	ラスター推進協議会ほか	―アルオープンし、地域活性化を図る取組を拡充
		する。

修正前

# 幡多地域アクションプラン

AP名	No.6 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト				
(実施地域)	(宿毛市)				
実施主体	◎宿毛市、◎(一社)スタートアグリカルチャーすくも、JA 高知県(幡多地区)、(一社)宿毛市				
<b>天</b> 爬土神	観光協会、他関連事業者				
AP への 位置づけ	R2.4月				
	H31.4 月からクラスタープランの取り組みを開始。宿毛市の主要農産物である文旦等の「柑				
事業概要	橘類」と「イチゴ」の生産拡大を核に、加工・観光などの事業者との連携を強化することで、地域				
	産業クラスター化を図り、地域活性化につなげる。				

指標	出発点	実	目標	
伯倧	山光紀	R元	R2	R5
(1) イチゴ生産量	48t	44 <del>+</del>	52t	63t
(1) 1アコ土/生里 	(H30) 44t		521	031
(2) ノエブル 帝老 戸粉	9戸	10 🗔	10戸	15戸
(2) イチゴ生産者戸数	(H30) 10戸		10 /	15 /-
(2) 立口共拉西德	90ha	90ha	90ha	Ocha
(3) 文旦栽培面積	(H30)	9011d	9011d	96ha

# これまでの主な動き

# <これまでの取り組みの内容>

#### ◆生産体制の強化

・スタートアグリカルチャーすくも設立 (H31.4月)

#### ♦商品開発

・イチゴを使った新商品を開発中(林邸 cafe)

# ◆推進体制の強化

- ・クラスタープラン策定 (H31.4月)
- ・プロジェクトチーム会開催(R元.7月)

# <主な成果>

#### ◆生産体制の強化

- ・スタートアグリカルチャーすくもに職員 2 名雇用、研修生 3 名確保(R 元)
- ・イチゴ用ハウス完成 (R 元.11 月)

# ◆商品開発

・佐田農園の「冷凍イチゴ」を宿毛市のふるさと納税の返 礼品に追加(R元.7月)

分野

農業

・スタートアグリカルチャーすくもで生産したイチゴのジャムが 宿毛市ふるさと納税返礼品に採用(R2)

### く課題>

## ◆生産体制の強化

- ・既存生産者の栽培面積の拡大による生産量及び所得 向上、新規就農者への農地の確保(文旦)
- ·JA の文旦集出荷場の高度化(文旦)
- ・農業研修生の確保、農業研修生などのハウス確保の支援、収穫最盛期の労働力確保、健全苗の確保(イチゴ)

# ◆商品開発

・加工品の開発・販売の強化、地元飲食店や観光業者 との連携による地元食材を核にした地域イベントの開 催、グリーンツーリズムの推進

		第4期計画(	こおける行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降			
◆生産体制の 強化	イチゴの栽培研修、新規研修生の確保、生産者等の確保							
	イチゴ農業研修 橘農家への雇用: ●県(幡多農業振	等に関する支援	研修生などの用地(ノ゙	(ウス) の確保支援、係	津全苗の育成、柑			
				文旦の生産拡大				
		う事業 ●県(幡多農業扱	面積の拡大に係る候補: 計画の策定 最興センター等): 引する情報提供、事業記					
	文旦集出荷場の	高度化の検討	高度化整備					
	●県(幡多農業扱	協議、補助事業の活点 張興センター等)、宿利 度に関する情報提供、	用検討 ====================================	A 高知県: 機械整備 ! (幡多農業振興セン 各種支援制度に関す				
◆商品開発	加工品、メニューの	開発・販売、地域イベ	ントの開催、グリーン	ソーリズムの推進				
	新商品のコン 実現、地域イベン ●県(地域本部等 試作品づくり⁄	ントの開催、観光農園の 等)、宿毛市: へのアドバイスを得るため	選定、試作品づくり、市	振興総合補助金(ス				
◆推進体制の		1 ! !	 	1 ! !				
◆推進体制の強化	11	見光業者、宿毛市観光 -ム会・勉強会等の開	・ 協会、飲食店など: 催による情報共有、連	携強化	1			
	各会議への参	参加、各種支援制度に	関する情報提供					
		1 1 1	1	1 1 1	1 1			

# 幡多地域アクションプラン

分野 農業

AP名	No.6 宿毛市イチゴ・柑橘成長クラスタープロジェクト
(実施地域)	(宿毛市)
実施主体	◎宿毛市、◎(一社)スタートアグリカルチャーすくも、JA 高知県(幡多地区)、(一社)宿毛市観光協会、他関連事業者
AP への 位置づけ	R2.4月
事業概要	H31.4 月からクラスタープランの取り組みを開始。宿毛市の主要農産物である文旦等の「柑橘類」と「イチゴ」の生産拡大を核に、加工・観光などの事業者との連携を強化することで、地域産業クラスター化を図り、地域活性化につなげる。

指標	出発点	実	目標	
泊馀	山光紀	四光紀 R2		R5
(1) イチゴ生産量	48t	52t		63t
(1 <i>)</i> 1アコ土/生里 	(H30)	521		03(
(2) ノイブル 辛老 戸粉	9戸	10 🗏		15 🖽
(2) イチゴ生産者戸数	(H30) 10戸			15戸
(2) 女日井拉西巷	90ha	90ha		06ha
(3) 文旦栽培面積	(H30)	9011d		96ha

# これまでの主な動き

# <これまでの取り組みの内容>

#### ◆生産体制の強化

- ・スタートアグリカルチャーすくも設立(H31.4月)
- ・イチゴ用ハウス完成(R元.11月)

#### ◆商品開発

- ・佐田農園の「冷凍イチゴ」を宿毛市のふるさと納税返礼 品に登録(R元)
- ・スタートアグリカルチャーすくもで生産したイチゴジャムを宿 毛市ふるさと納税返礼品に登録(R2)
- ・イチゴを使った新商品を開発(林邸 cafe、Royalbar WHITEHOUSE)(R3)

#### ◆推進体制の強化

・クラスタープラン策定(H31.4月)

# <主な成果>

# ◆生産体制の強化

- ・スタートアグリカルチャーすくもに職員 2 名雇用、研修生累計 6 名確保(R 元 $\sim$  R3)
- ・研修生が4名就農(R2~R3累計)

# <課題>

#### ◆生産体制の強化

- ・既存生産者の栽培面積の拡大による生産量及び所得向上、新規就農者への農地の確保(文旦)
- ・JA の文旦集出荷場の更新(文旦)
- ・農業研修生の確保、農業研修生などのハウス確保、 収穫最盛期の労働力確保、健全苗の確保 (イチゴ)

# ◆商品開発

- ・加工品の開発・販売の強化
- ・地元飲食店や観光業者との連携による地元食材を核 にした地域イベントの開催
- ・グリーンツーリズムの推進
- ·SNS やマスメディアを活用した情報発信の強化

		第4期計画に	おける行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降			
◆生産体制の 強化	イチゴの栽培研修、新規研修生の確保、生産者等の確保							
	イチゴ農業研修 橘農家への雇用: ●県(幡多農業振		研修生などの用地(ノ	<b>いウス)の確保支援、</b> 後	建全苗の育成、柑			
					文旦の生産拡大			
		う事業 ●県(幡多農業振	計画の策定 興センター等):	地の選定及び調整、補 地の選定及び調整、補 計画策定及び栽培管理				
◆商品開発	加工品、メニューの	開発・販売、地域イベ	ントの開催、グリーン	ツーリズムの推進				
	<ul> <li>●宿毛市、市内加工業者、宿毛市観光協会、飲食店など: 新商品のコンセプトづくり、ターゲット選定、試作品づくり、市場調査、製造方法等の検討、商品化の実現、地域イベントの開催、観光農園の整備検討</li> <li>●県(地域本部等)、宿毛市: 試作品づくりへのアドバイスを得るための支援策提案、産業振興総合補助金(ステップアップ事業を含む)の活用可能性検討、SNS やマスメディアを活用した情報発信、各種支援制度に関する情報提</li> </ul>							
	供							
◆推進体制の 強化	チーム会の取り組	みの強化						
	<ul> <li>●宿毛市、市内観光業者、宿毛市観光協会、飲食店など:</li> <li>プロジェクトチーム会・勉強会等の開催による情報共有、連携強化</li> <li>●県(地域本部等):</li> <li>各会議への参加、各種支援制度に関する情報提供</li> </ul>							
				i 1 1 1				

修正前

# 幡多地域アクションプラン

THE						
AP名	No.38 竜串地域の観光再生構想の推進					
(実施地域)	(土佐清水市) ※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)					
実施主体	◎ 竜串海洋観光クラスター推進協議会、土佐清水市、(一社)土佐清水市観光協会、NPO					
大心工件	竜串観光振興会、観光事業者、ガイド団体					
AP への 位置づけ	H21.4月					
	県立足摺海洋館のリニューアルオープンや足摺宇和海国立公園竜串ビジターセンター及びス					
事業概要	ノーピーク土佐清水キャンプフィールドのオープン等を地域観光再生の好機と捉え、地域資源を					
尹未佩安	活用した観光商品づくりを行う地域団体と連携して、竜串地域が一体となって観光振興に取り					
	組むことにより、地域の活性化を図る。					

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
入込客数	8.7 万人 (H30)	8.8万人		17 万人

集計期間:1~12月

# これまでの主な動き

# <これまでの取り組みの内容>

# ◆新たな観光施設を核とした、事業者間連携による誘客の仕組みづくり

- ・スノーピーク土佐清水キャンプフィールドオープン (H31.4 月)
- → H30 観光拠点補助金の活用 (事業費:3 億 8,600 万円)
- ・足摺宇和海国立公園「竜串ビジターセンター」整備 (R2.3 月オープン)
- ・県立足摺海洋館「SATOUMI」整備(R2.7 月オープン)
- ・県立足摺海洋館「SATOUMI」の集客(プロモーション)活動の活性化に向けた外部人材の活用(R2)
- →産振補助金外部人材活用支援事業

(事業費:720万円)

## ◆地域でのクラスター形成を促進する事業者間連携

- ・竜串海洋観光クラスター推進協議会発足(H30.4月) (構成員・・・高知県観光開発公社ほか竜串地域の観 光事業者、環境省土佐清水自然保護官 事務所、土佐清水市、県など)
- ・推進協議会において4モデルプロジェクトを設定(H30)
- ・産振アドバイザーを活用して、レスト竜串に地元の素材を生かしたメニュー2品を新たに開発(H30:2回)
- ・ランチマップの作成(R2)

#### ◆竜串地域利用計画の推進

・産振アドバイザーを活用して、竜串東側地域の整備計画を策定(R元:3回)

観光

# <主な成果>

- ・スノーピーク土佐清水キャンプフィールド利用者数 R元(4~12月): 5,137人
- ・事業者間の連携意識の醸成 ワークショップ等の開催3回(R2)

## く課題>

- ・地域の事業者やガイド等が主体となった誘客のさらなる 取り組み
- ・3つの新施設(キャンプフィールド、ビジターセンター、新 足摺海洋館)を核とした、体験プログラム等を楽しみ、 地域を周遊し、宿泊につなげ、滞在時間を延ばす仕組 みづくり

第4期計画における行程表						
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降	
◆新たな観光施設を核とした、 事業者間連携による誘客の仕組	施設を核とした、誘	客の仕組みづくり	及び実践	誘客の仕組みの拡	大実践	
みづくり	土佐清水キャンプフィールド、ビジターセンターの運営 施設運営事業者と地域の観光事業者等への橋渡し			●(一社)土佐清水市観光協会、 竜串地域観光事業者: 体験プログラム及びセットプログラムの磨き上げ、イベントの拡大実施、着地型旅行商品の磨き上げ ●土佐清水市: 土佐清水キャンプフィールド、ビジターセンターを核とした体験プログラムの磨き上げ ●県(地域本部等): 新足摺海洋館 SATOUMI の運営観光拠点整備補助金等によるソフト及びハード面の取り組みの支援種支援制度に関する情報提供		
◆地域での クラスター形成	クラスター協議会に	おける連携強化	クラの拡	スター協議会の取り組入	組みを市内全域へ	
を促進する	各部会(①ツス 設・事業者・ガイド ベント開催等、④ による取り組みの対 携強化 ●土佐清水市: 協議会への参廻	5スター推進協議会: アー参加者向けの限定 ドによる研修等、③地域 海のギャラリーの活用等 推進、各部会とイベント 画によるアドバイス ):	或内を周遊を狙ったイ 等)での事業者連携 ・実行委員会との連	土佐清水市: 各種取り組み ハウ等を市内全 ・サリスので ・サリスの ・サン ・サン ・サン ・サン ・サン ・サン ・サン ・サン ・サン ・サン	ラスター推進協議会、で蓄積された集客ノウ 域の観光施策に拡大 等): 画によるアドバイス、 機関への橋渡し	
◆竜串地域利用 計画の推進	竜串利用計画の推  ●土佐清水市: 竜串エリア利用 備(駐車場、売店	計画策定、竜串東側	●土佐清水市	「たなハード及びソフト 「たなハード及びソフト 「・利用計画に基づく、新事業の検討・実施		
	●県(地域本部等) 観光拠点整備		計    支援制度に	≤部等): 対にあたって産振アドバイ! □関する情報提供	ザーの活用提案、各種	

# 幡多地域アクションプラン

分野 観光

AP名	No.38 竜串地域の観光再生構想の推進
(実施地域)	(土佐清水市) ※地域産業クラスター関連(土佐清水メジカ産業クラスタープロジェクト)
実施主体	◎土佐清水市、竜串海洋観光クラスター推進協議会、(一社)土佐清水市観光協会、NPO
	竜串観光振興会、観光事業者、ガイド団体
AP への 位置づけ	H21.4月
	県立足摺海洋館のリニューアルオープンや足摺宇和海国立公園竜串ビジターセンター及びス
事業概要	ノーピーク土佐清水キャンプフィールドのオープン等を地域観光再生の好機と捉え、地域資源を
	活用した観光商品づくりを行う地域団体と連携して、竜串地域が一体となって観光振興に取り
	組むことにより、地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R2	R3	R5
入込客数	8.7 万人 (H30)	19.2 万人		17万人

集計期間:1~12月

# これまでの主な動き

# <これまでの取り組みの内容>

### ◆事業者間連携強化及び誘客の仕組みづくり

- ・竜串海洋観光クラスター推進協議会発足(H30.4月)
- ・推進協議会において4モデルプロジェクトを設定(H30)
- ・地元素材を活かしたメニュー開発(H30)
- →産振アドバイザーの活用
- ・スノーピーク土佐清水キャンプフィールドオープン (H31.4 月)
- → H30 観光拠点補助金の活用
- ・足摺宇和海国立公園「竜串ビジターセンター」オープン (R2.3月)
- ・県立足摺海洋館「SATOUMI」オープン(R2.7月)
- ・「SATOUMI」のプロモーション活動の活性化に向けた 外部人材の活用(R2)
- →産振補助金(外部人材活用支援事業)の活用
- ・ランチマップの作成(R2)
- ・竜串の観光を考える会発足(R3)

## ◆竜串地域利用計画の推進

- ・竜串東側地域の整備計画策定(R元)
- →産振アドバイザーの活用

# ◆道の駅「めじかの里土佐清水」改修による誘客の促進

- ·新土佐清水市地場産品販売施設連携協議会発足 (R3)
- ・食堂メニューを改良(R3)
- →産振アドバイザーの活用
- ・道の駅改修事業計画の策定(R3)

# <主な成果>

・セット券 (足摺海洋館 SATOUMI、海底館、グラスボート) 販売数 R2:27,993

# <課題>

- ・近隣に昼食を取る場が少なく、規模も小さいため、入込 客に対応できていない。
- ・地域の事業者やガイド等が主体となった誘客のさらなる 取り組み
- ・3つの新施設(キャンプフィールド、ビジターセンター、新 足摺海洋館)を核とした、体験プログラム等を楽しみ、 地域を周遊し、宿泊につなげ、滞在時間を延ばす仕組 みづくり

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆ <u>事業者間連</u> 携強化及び誘 客の仕組みづくり	事業者連携による	' 誘客の仕組みづくり	及び実践	誘客の仕組みの拡	大実践
	施設を核とした 光施設・体験プロ 施、イベント実施、 げ ・土佐清水市: 土佐清水キャン 施設運営事業 ・県(地域本部等 観光拠点整備	市観光協会、竜串地域体験プログラムの実施、グラムが連携したセットで着地型旅行商品の造ると地域の観光事業者と地域の観光事業者): 補助金等によるソフト及然&体験キャンペーン等	施設周辺の観 プログラムの実 成及び磨き上 ンターの運営 (等への橋渡し なびハード面の取	き上げ、イベントの拡充 商品の磨き上げ ・土佐清水市: 土佐清水キャンプンターを核とした体験 ・県(地域本部等) 新足摺海洋館 SA	者: ボセットプログラムの磨 大実施、着地型旅行 フィールド、ビジターセ プログラムの磨き上げ : ATOUMI の運営 助金等によるソフト及 ・の支援
◆竜串地域利 用計画の推進	竜串利用計画の持	<b>能進</b> 電串利用	計画に基づいた、	新たなハード及びソフ	ト事業の検討・実施
	備(駐車場、売店 ●県(地域本部等) 観光拠点整備補		聲   ●県(地域ス   事業検	市:利用計画に基づく、新 事業の検討・実施 本部等): 討にあたって産振アドバイナ こ関する情報提供	
◆道の駅「めじか の里土佐清水」 改修による誘客 の促進	事業計画の策定 <u>●土佐清水市</u> : 事業計画の第	定定、出品者等との連携	施設整備  ●土佐清水	新たな道の駅に、 市:観光事業者と連携し	
	化 ●県(地域本部等 産振補助金流 関する助言	穿): 舌用及び事業計画策定 :	-	の販売促進支援 本部等): 実施にあたり産振アドバイザ に関する情報提供	一の活用提案、各種